

 **130th**
Anniversary
DOKKYO GAKUEN



品川 彌二郎



西 周



桂 太郎



加藤 弘之

DER
KAMPF UMS RECHT
DES STÄRKEREN
UND
SEINE ENTWICKELUNG.

VON
HIROYUKI KATŌ,
DE GRACIE HAKUSHE



獨協の礎を

つくつた先人たち

―品川 彌二郎・西周・桂 太郎・加藤 弘之―

第3回企画展

獨協学園創立130周年記念

2013年11月1日 金

2014年4月30日 水

獨協医科大学
創立40周年
企画展同時開催



獨協大学天野貞祐記念館1階
獨協歴史ギャラリー
<http://www.dac.ac.jp/gallery/>

月曜日～金曜日 10:00～16:45
土曜日 10:00～11:45 日曜日・祝日 休館
お問い合わせ: 048-946-2800

※入学試験期間中及び大学の休校日に準じて休館いたします。

しながわ やじろう
品川 彌二郎 1843(天保14)～1900(明治33)年



獨逸学協会初代委員長。長州藩の足軽弥市右衛門の長男として生まれる。
1857(安政4)年吉田松陰の松下村塾門下生となる。維新後、1870(明治3)年ドイツに留学。農商務大輔(次官)、駐独公使を経て、1891(明治24)年第一次松方正義内閣で内務大臣となる。子爵、獨逸学協会、同学校設立を実質的に担った。

にし あまね
西周 1829(文政12)～1897(明治30)年



石見国津和野藩(現島根県津和野町)の藩医の子として生まれる。蕃所調所教授を勤め、1862(文久2)年幕府留学生としてオランダに派遣され、開成所教授に任じられる。元老院議員、貴族院議員等を歴任。明治日本の啓蒙と近代化に尽力。わが国で最初に西洋哲学を組織的に紹介、日本近代哲学の父と呼ばれる。「哲学」「憲法」などの訳語、述語は今も広く用いられている。1881(明治14)年獨逸学協会設立に参加、本校開校に当たり、初代校長に就任。

かつら たろう
桂 太郎 1847(弘化4)～1913(大正2)年



萩藩士與一右衛門の長男として、萩城下平安古に生まれる。1870(明治3)年ドイツに留学。帰国後山縣有朋の下でドイツ式陸軍の建設に努めた。公使館付武官として再びドイツに赴き、帰国後陸軍次官、第三師団長となり、その軍功によって子爵を授けられた。台湾総督、陸軍大臣、陸軍大将、総理大臣を歴任。伯爵さらに侯爵を授けられ、三度組閣後公爵を授けられる。1887(明治20)年2代校長に就任。1903(明治36)年獨逸学協会学校商議員、年評議員長を務める。

かとう ひろゆき
加藤 弘之 1836(天保7)～1916(大正5)年



但馬国出石藩(現兵庫県豊岡市)の兵学師範の家に生まれる。弘道館に学び、17歳のときに父とともに出府。蕃所調所教授、開成所教授を経て、幕臣に登用され、明治政府成立後開成学校綜理、帝国学士院長、文学博士、さらに東京大学初代総長となり、男爵を授かる。枢密院顧問官に任ぜられる。1890(明治23)年3代校長に就任。93(明治26)年校則を改正し、普通科を獨逸学協会学校中学と改称した。

獨協歴史ギャラリー アクセス

天野貞祐記念館 1 階

 DOKKYO HISTORICAL GALLERY
獨協歴史ギャラリー

〒340-0042
埼玉県草加市学園町1-1 獨協大学天野貞祐記念館1階

日比谷線・半蔵門線直通
東武伊勢崎線「松原団地」駅下車西口徒歩5分

